

## ゆるやかに、しかし確実に進める 子どもの環境学習の重要性

地球環境問題解決のためには、生活スタイルや現在の社会システムの中で形成された価値観を見直す必要がある。だが実際には、一度得た豊かな生活の改善はなかなか難しい。そこで注目を集めているのが環境教育・環境学習である。

「NPO法人こども環境活動支援協会」（通称「LEAF」）は、兵庫県西宮市を中心に次代を担う子どもたちの環境活動を応援するために創設されたNPO組織。子ども頃の自然体験や環境活動の体験を通じて、大人になつてからの環境保全に対する理解を高めることを目的に様々な活動を行っている。

「現在の地域における子どもたちに対する環境学習事業は、体系的・総合的な整備が充分になされているとは言えません。そこで、次代を担う子どもたちが、地球環境に配慮した暮らしや活動ができる地球市民へと成長してくれることを願って、関係機関と協働して、子どもたちの環境活動を地域や学校などあらゆる場において支援することを目的とした活動を進めています」と長手聖美事務局次長は説明する。

LEAFの事業内容としては、第一に「地域に根ざした持続可能な社会に向けた教育の調査研究事業」が挙げられる。これは

ソーシャル・キャピタルを育む現場から

# 環境への関心を育てるために

環境学習事業  
(EWC:Earth Watching Club)と  
エコカード&エコスタンプシステム

ナビゲーター

NPO法人こども環境活動  
支援協会

(LEAF Learning and Ecological  
Activities Foundation for Children)

「エコスタンプ」を押す役目（サポーター）になるのは学校の先生をはじめ、地域団体のリーダー、文具店や量販店、環境関連の行政機関の担当者、児童館・公民館・植物園の職員など（なお協力店や団体には、目印の「EWCステッカー」を貼ってもらっている）



「エコカード」の活動の様子。子どもたちが環境学習や活動に参加すれば「エコカード」に「エコスタンプ」を押してもらえ、一定数のスタンプが集まれば「アースレンジャー認定証」がEWC事務局より交付される



「アースレンジャーファミリー」は小学校1・2年生が対象で、児童が10個またはおうちの人 が15個集めると「アースレンジャーファミリー」として表彰される。

NPO法人「こども環境活動支援協会」

【連絡先】

〒662-0855 西宮市江上町3-40  
 TEL:0798-35-3804 FAX:0798-35-4208  
 E-mail kodomo@leaf.or.jp  
 URL http://leaf.or.jp/

子どもたちの環境活動を支援するためのシステムを開発するもので、西宮市が九二年から行政主導で行っていた環境学習事業を、九八年より受け継いで進めているもの。西宮市と協働で、「エコカード」「エコスタンプ」を使って、家庭・地域・学校という子どもたちの全生活領域の中で環境に対する関心を育てようという試みであり、地道ながら確実な歩みで成果を挙げている。

「環境問題は、長い目でしかし確実に進めていく必要があります」(長手事務局長)という言葉のとおり、一人ひとりの環境への取り組みが、最終的には環境問題を解決する。それだけに「EAF」の活動は、遠回りであるようで、実は最も確実な環境問題への取り組みなのかもしれない。また視点を変えれば、ソーシャル・キャピタルの形成による環境問題への取り組みの好例と言っているのではないだろうか。

(文責:CEL編集室)

CEL



「身近な自然とのふれあいを通じて環境を考える」ことを目的に、様々な体験学習の場が設けられている



学校に配布された環境学習用教材



「エコスタンプ」のシンボルキャラクター「さとみちゃん」(トリケラトプスをイメージしたデザインになっている)



地域に根ざした環境学習システムの中核をなす「エコカード」と「エコスタンプ」